■令和7年度　政務活動費 議員別支出額一覧表(会派名:市民派・チームみらい　　議員名:　　古川明美　)　　(単位:円)

支払番号	支払年月日	研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	人件費	事務所費	事務費	会議費	支出合計
1-1	R7.5.1	3,750										3,750
1-2	R7.5.10	37,320										37,320
1-3												
1-4												
1-5												
1-6												
1-7												
1-8												
1-9												
1-10												
1-11												
1-12												
1-13												
1-14												
1-15												
	合計	41,070	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41,070

支　払　伝　票

科目	■研究研修費　□調査旅費　□資料作成費　□資料購入費　□広報費 □広聴費　□人件費　□事務所費　□事務費　□会議費		
支払日	令和７年　　５月　１日	金額	￥　３，７５０
会派名	(会派のみ記入) 市民派・チームみらい	購入者	古川　明美
経理 責任者	(会派のみ記入) 小川麻実	支払 番号	No.　１－１
摘要	令和７年度議員力研究会　年会費として １５，０００円÷４回＝３７５０円 （３，７５０円×１回分　市民派・チームみらい政務活動費より充当） （３，７５０円×３回分　８月１日より古川議員政務活動費より充当）		

領収書添付欄

領　収　証

市民派・チームみらい
古川　明美　様

金 15,000 円

但し、令和 7年度議員力研究会年会費として

令和　7 年　5 月 1日　上記正に領収いたしました

議員力研究会
会　計 [redacted]

[redacted]

TEL [redacted]　FAX [redacted]

議員力研究会　報告書

2025年　5月1日（木）			
	発表者	テーマ	意見交流
一般質問・質疑事例発表	[redacted]	多文化共生と子どもの居場所	・6年度で終了した日本財団助成の事業内容と市の関りが明確になっていない ・国の事業（こども家庭庁の補助事業）に該当しない子どもの支援を、市が主体的に行う必要がある。 ・居場所、学習支援、現場の状況をしっかりリサーチし、市として何ができるかのビジョンをしっかりたてることが大切 ・自身のライフワークとして思いがあるなら関わり続けることが大切。
	[redacted]	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用と給食費保護や負担分引き上げ凍結を求める請願結果との因果関係	・請願否決したから値上げしない方針は出せない、というのが本音ではないか。 ・市は本当は値上げ分活用したかったのではないか。請願の時は補助金が確定していなかった、交付金が確定し市費で実施するのでなければ、議会判断に反することにはならないと、市が実施できるよう提案するとよかった。
その他	テーマ		・一般質問はほぼ全員がする。一般質問のあと、本会議質疑。そのあと、質問や質疑を受けて全員協議会。それを常任委員会に反映させている。 ・今後は常任委員会でも質問ができるよう考えていきたい。 議会改革が進んでいる議会との違いを感じました。
	それぞれの議会調査票発表 ・所属議会の一般質問形式 ・一般質問の頻度（全体を通して） ・通告から質問までの経緯 ・所属会派と執行部		

支　払　伝　票

科目	■研究研修費　□調査旅費　□資料作成費　□資料購入費　□広報費 □広聴費　□人件費　□事務所費　□事務費　□会議費		
支払日	令和７年　　５月　１０日	金額	￥　３７，３２０
会派名	(会派のみ記入) 市民派・チームみらい	購入者	古川　明美
経理 責任者	(会派のみ記入) 小川麻実	支払 番号	No.　１－２
摘要	地方制度研究会参加及び医療法人社団しろひげファミリー等での研修に関わる宿泊費及び旅費		

領収書添付欄

別紙の通り

支　払　伝　票　(別　紙)

支払番号	No.　1－2	別紙の枚数	1　枚中　　1　　枚目

領収書添付欄

ご利用明細書
Description

No. 248123-1

お名前(Name)
古川　明美　様

MH
瑞江第一ホテル
〒132-0011 東京都江戸川区瑞江2丁目6-16
TEL.03-5243-8000(代表) FAX.03-5243-8354
事業者登録番号:T1011701008180

お部屋番号 Room No.	ご到着日 Arrival	泊数 Nights	ご出発日 Departure	人数 Persons	発行日 Issue	担当 Clerk	ページ Page
1520	2025/05/28	1	2025/05/29	1	2025/05/29	[redacted]	1

日付 Date	お部屋番号 Room No.	ご利用明細 Description	単価 Unitprice	数量 QTY	金額 Charges	入金 Payment
05/28	1520	シングル禁煙	10,400	1	10,400	
		朝食(銀鮭朝定食)	600	1	600	
		クレジット(宿泊代)				10,400
		クレジット(朝食代)				600
		10%対象			11,000	
		内消費税			1,000	
ご署名 Signature					ご利用合計 Total	ご請求額 Balance
会社名 Firm					11,000	0

(内消費税(10%) 1,000)

No. 248123-1

領収書
Receipt

お名前(Name)
古川　明美　様

MH
瑞江第一ホテル
㈱ユリ・エンターブライズ
〒132-0011 東京都江戸川区瑞江2丁目6-16
TEL.03-5243-8000(代表) FAX.03-5243-8354
事業者登録番号:T1011701008180

PAID

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
		11,000
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
		11,000

(内消費税(10%) 1,000)　(課税対象(10%) 11,000)

クレジットカードでお支払い頂きました

発行月日(Issue)
2025/05/29

印紙

ポイントはついていません.
朝食対象外.

様式第２号（第７条関係）

旅費（概算・精算）請求書

（宛先）市民派・チームみらい　代表　古川　明美　　請求日　令和7年5月30日

旅行命令権者		市民派・チームみらい　代表　古川　明美	請求者	所属（所属団体）	市民派・チームみらい	
専決者	所属	市民派・チームみらい		職名（役職）	代表	領収印
	職名	代表		氏名	古川　明美	
	氏名	古川　明美		住所又は居所	各務原市鵜沼三ツ池町	

旅行期間
令和７　年　5　月　28 日から
令和７　年　5　月　29 日まで　2　日間

用務
地方制度研究会視察研修

出発地
各務原市役所（各務原市那加桜町1-69）

用務地
・衆議院会館
（東京都千代田区永田町2-2-1）
・医療法人社団　しろひげファミリー　しろひげ在宅診療所
（東京都江戸川区東瑞江3-55-11）
・江戸川区駄菓子屋居場所 よりみち屋
（東京都江戸川区瑞江2-4-3）

居住地発着の場合　（　直行　直帰　直行直帰　）

鉄道・船・航空・その他の交通費

区間			路線名	区分	運賃	距離	急行料金	座席指定料金等
各務原市役所前	－	名鉄岐阜	名鉄各務原線	片（往）	660円	km	円	円
岐阜	－	名古屋	ＪＲ東海道本線	（片）往	6,600円	km	円	円
名古屋	－	東京	ＪＲ東海道新幹線（のぞみ）	（片）往		km 366.0	円 4,180	円 740
東京	－	国会議事堂前	東京メトロ丸ノ内線	（片）往	180円	km	円	円
永田町	－	九段下	東京メトロ半蔵門線	（片）往	360円	km	円	円
九段下	－	瑞江	都営新宿線	（片）往		km	円	円
瑞江	－	岩本町	都営新宿線	（片）往	280円	km	円	円
秋葉原	－	東京	ＪＲ東北本線	（片）往	6,600円	km	円	円
東京	－	名古屋	ＪＲ東海道新幹線（のぞみ）	（片）往		km 366.0	円 4,180	円 740
名古屋	－	岐阜	ＪＲ東海道本線	（片）往		km	円	円

通勤手当の支給区間　―　―　―

宿泊地
瑞江第一ホテル
（東京都江戸川区瑞江2-6-16）

宿泊費 夜数	宿泊費 金額	宿泊手当 夜数	宿泊手当 定額 調整額	包括宿泊費 夜数	包括宿泊費 金額	転居費 金額	着後滞在費 宿泊費 夜数	着後滞在費 宿泊費 金額	着後滞在費 宿泊手当 夜数	着後滞在費 宿泊手当 定額	家族移転費 旅行人数	家族移転費 金額	その他（　） 金額
夜 1	円 10,100	夜 1	円 2,100	夜	円	円	夜	円	夜	円	人	円	円

概算額	精算額	追給額	返納額
37,320円	37,320円	―円	―円

（旅行役務提供者からの請求がある場合）
・旅行役務提供者の旅費請求額　円
・旅行役務提供者の名称・所在地

摘要
グリーン車は使用しない。

5月28日（水）

6:40 岐阜駅改札前集合

6:51 岐阜駅 発【JR 11,520円】

↓　　東海道本線新快速（豊橋行）

7:16 名古屋駅（2番線）着

7:29 名古屋駅（14番線）発

↓　　のぞみ288号（東京行）

9:06 東京駅（14番線）着

9:17 東京駅（1番線）発【東京メトロ 180円】

↓　　東京メトロ丸の内線（中野富士見町行）

9:24 国会議事堂駅前（1番線）着

↓　　徒歩約5分

参議院会館前

10:00　官僚レク

↓　　厚生労働省　子ども家庭庁

11:30 議員食堂

↓　　昼食　休憩

15:00　官僚レク

↓　　内閣府地方創生推進事務局

17:30　徒歩約5分

↓　　移動 休憩

18:00 星稜会館 懇親会

↓

20:00 移動

↓　　徒歩約5分

20:31 永田町駅（4番線）発【瑞江駅まで360円】

↓　　東京メトロ半蔵門線（押上行）

20:35 九段下駅（4番線）着

20:40 九段下駅（6番線）発

↓　　都営新宿線各停（本八幡行）

21:07 瑞江駅（2番線）着

↓　　徒歩1分

瑞江第一ホテル

5月 29 日（木）

7:30　ロビー集合

↓　　徒歩約 10 分

8:00　しろひげ在宅診療所 視察（8時～朝礼）

↓　　車移動 5分

11:00 江戸川区駄菓子屋居場所「よりみち屋」 視察

↓　　車移動 5分

12:00 昼食

↓　　徒歩約5分

13:30 瑞江駅（1番線）発【岩本町駅まで280円】

↓　　都営新宿線各停（京王多摩センター行）

13:54 岩本町駅（1番線）着

↓　　徒歩約 10 分

14:09 秋葉原駅（3番線）発【JR 11,520円】

↓　　山手線（東京方面行）

14:13 東京駅（5番線）着

↓　　休憩

15:00 東京駅（17 番線）発

↓　　のぞみ 243 号（新大阪行）

16:39 名古屋駅（16 番線）着

16:50 名古屋駅（5番線）発

↓　　東海道本線（岐阜行）

17:17 岐阜駅着

視察メンバー

・各務原市議会　古川明美

・岐阜市議会

・山県市議会

・山県市議会

・美濃市議会

[redacted]

視察記録

令和　7　年　5　月　30　日

会派名　市民派・チームみらい
代表者・議員名　古川明美

次のとおり視察を実施した。

記

1．期日　　令和７年５月２８日（水）

2．場所　　衆議院会館

3．参加者　　古川明美

4．概要　　地方制度研究会参加

＜厚生労働省レク＞

① 出産に関する妊婦等の経済的負担の軽減策の対策について

2026 年度を目途に、出産費用無償化の範囲や医療保険全体のバランスについて詳細検討を進めている。

・出産ナビの情報公開範囲・内容のさらなる充実を検討
・妊婦の多様なニーズに応じた出産環境整備の具体策を検討
・出産に関する医療介入情報の公開項目を追加検討
・助産師や現場の意見を反映した情報項目の抽出
・継続ケアの仕組み・チーム体制の具体化
・小規模助産院（20 件以下）の出産ナビ掲載基準の見直し
・空白分娩自治体増加。妊婦の負担軽減と産科経営の両立が必要。

② 地域保健衛生

日本の保健所および地域保健サービスの歴史的変遷と整備状況、さらに定期検診制度と受診率向上の取り組みについて。

・限られた資源の中で利益と利益の可能性を考慮し、集団にとっての利益を見据えた運営の重要。
・定期検診制度の実施状況とこれに伴う受診率の向上について
対象は 40 歳から 70 歳の女性、5 歳刻みで実施
現状の受診率 8～5%程度受診率 15%まで引き上げる計画
受診勧奨再勧奨により約 10.6%の効果が確認

③ 令和７年度　こども家庭庁予算のポイント

国と地方の連携、予算や施策の現状、保育・教育・医療・若者支援・福祉分野の課題と取り組み、地域格差や経済的負担、制度の現場実態など、今後の具体的な対応策の提示。

・今年度拡充・新設施策の周知と実施状況の確認
・放課後児童クラブ常勤職員の補助単価引き上げによる賃金確保の取り組み開始。
・民間事業者の受託状況について調査を継続。
・子どもの装具支給制度の所得制限撤廃状況を自治体ごとに確認。
・放課後児童クラブ・デイサービス・保育士・支援員不足や受け皿不足が深刻化。

＜内閣府地方創生推進事務局レク＞

特区制度の活用、地方創生、国会の現状、特区制度の全体像・歴史・運用、規制改革、地方自治体・事業者への制度活用、PR 活動、海外比較、教育・課税分野での特区活用、現場課題や提案事項などに関するレク

① 構造改革特区は 2002 年に創設。（小泉政権下）
地域のことは地域で決める、全国一律ルールの見直しが背景。
財務省の予算制約を受けず、規制改革に特化した制度。

全国どこでも、誰でも提案可能。

② 総合特区は民主党政権時代創設。
規制改革だけでなく、予算措置・金融支援・税制などの支援措置をパッケージ化。
指定区域のみが利用可能。

③ 国家戦略特区は安倍内閣時代に創設。
国際的な産業競争力強化を目的。
有識者の意見を取り入れ、看板規制の突破を目指す。
税制や金融支援措置も含むが、予算措置はなし。

特区制度の実績と運用

・特例措置は現在 56 件。
・全国展開された事例は 145 件。
・トップに認定された件数は 1432 件（重複含む）。
・全国的な規制制度改革の穴を開ける役割を果たしている。
・特区制度の特例措置は、エリア限定で実施し、問題なければ全国展開も可能。
・最初から全国展開される場合もある。
・自治体が計画を作成し、問題がなければ認定・実施される運用。

総合特区制度の概要と現状

・総合特区制度には「国際戦略特区」と「地域活性化特区」の 2 種類がある。
・国際戦略特区：大都市を中心に国際競争力強化を目的。
・地域活性化特区：各地域の活性化を目的。

研修記録

令和７年　５　月　30　日

会派名　市民派・チームみらい
代表者・議員名　古川明美

次のとおり視察を実施した。

記

１．期日　　令和７年５月２９日（木）

２．場所　　医療法人社団　しろひげファミリー　しろひげ在宅診療所
江戸川区駄菓子屋居場所 よりみち屋

３．参加者　　古川明美

４．概要　　在宅診療・地域連携　　江戸川区のひきこもり支援推進事業

① しろしげ在宅診療所　　在宅診療・地域連携について

在宅診療所の目的と使命は、重症度が高く、病院に通うことが困難な患者 24 時間 365 日の体制で最後まで看取ること。

在宅診療所の現状
・全国には約１万３千～1 万４千の在宅診療所が存在しており、その 76%が従来型として認定され、診療報酬がほぼ同等に支払われている。
・年間で訪問件数が 10 件以上、かつ看取り件数が４件以上であれば機能強化型と認定される仕組みだが、実際にはこれらの数値を満たしていなくても在宅診療所として認められている例がある。
・実際に積極的に訪問診療を行っているところは、年間で約 2000 件近い往診と、300 件近くの看取りを実施。
・複数の地域に 20 数か所の拠点を持ち、夜間は沖縄のコールセンターを利用してオンコール体制、院長は各地域に常駐し、バイトドクターを配置し、重症患者

の場合は救急搬送を促す運用。訪問看護がコールセンター主体となり、患者や家族の背景や思いが十分に考慮されず、結果的に「困ったら救急車」という対応に終始する現状などの実態もある。

課題
行政施策の進捗報告と現場の実感に大きな乖離があり、現場で誰がどのように救われているのかが不明確なまま、行政施策の現場有効性や実行力、モデル地域化の具体的な実施計画・役割分担が未策定となっている。

江戸川区との連携プロジェクト
新しい総合リクリエーション公園計画に伴い、デジタルスポーツの拠点設立が予定。
（フレイル予防）
感想
常勤医師、非常勤医師の分業、昼の担当医と夜の担当医の分業、定期訪問と緊急対応の分業、自宅患者と施設患者の分業。分ける仕組みは、医師のワークライフバランスにおいて必要な仕組みかもしれないが、患者にとっての伴走、継続ケアにはならない。しろひげ診療所の医師はすべて常勤。そして医師だけでなく、すべてのスタッフが常勤です。心に寄り添うことを大切にお看取りまでチームで寄り添う関わりは、ロールモデルとなる取り組みでした。

② 江戸川区駄菓子屋居場所 よりみち屋　　江戸川区のひきこもり支援推進事業

江戸川区市民調査
・江戸川区は 70 万人の人口を有し、全国規模の調査で回答率 50%以上、引きこもりと認定された人数は 1 万人以上と算出。
・推定では実際には 2 万人程度の引きこもりが存在し、家族も含めた支援の必要性が高い。
・病院や行政に相談せず個人で悩んでいるケースが多数ある。

就労体験と雇用契約の概要、対象者とニーズ
・就労体験は 15 分から最長 3 時間の枠で行われ、徐々に雇用契約（一般のアルバイト契約や類似契約）へ移行
・具体例として、10 月に賃金が 1163 円に決定となり、その金額で仕事体験が実

施。
・これまで仕事経験のない方や、過去に社会復帰が困難だった方（例：十年ぶりに働く方、職場での人間関係や病気が原因で離職した方）

サポート制度と職場体験プログラム
・厚生労働省が実施するサポートによる、パソコンスキルの習得や提携企業との連携プログラムが存在。
・お試し期間 10 日間の職場体験を通して、利用者と雇用側が互いにフィット感を確認し、最適な職場に配置する取り組み実施。

居場所事業の展開と利用者の動向
・あくまで引きこもりの方々を対象とした居場所として設置
・自然発生的に不登校の子どもや児童相談所からの紹介も増加・
・別枠の子ども向け居場所や学習支援の必要性を感じ始めている
・居場所として「いつ来ても誰かがいる」安心感を提供することが評価され、利用者層が広がっている。